# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

63-295270

(43) Date of publication of application: 01.12.1988

(51)Int.CI.

B41J 3/04 B41J 3/04

(21)Application number: 62-130411

(22)Date of filing:

27.05.1987

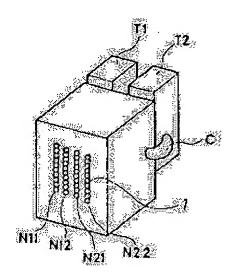
(71)Applicant: SEIKO EPSON CORP (72)Inventor: KITAHARA TSUYOSHI

## (54) COLOR INK JET HEAD

## (57)Abstract:

PURPOSE: To enable a color ink jet head capable of expressing gradations, by providing a plurality of nozzle orifices for ejecting ink droples with different weights at the same flying velocity for each color ink.

CONSTITUTION: An ink I1 contained in an ink tank T1 is ejected as ink droplets from nozzle orifices 1 in nozzle orifice arrays N11 and N12. Also, an ink I2 is ejected as ink droplets from nozzle orifice arrays N21 and N22. For example, the nozzle orifice arrays N11 and N21 eject the ink droplets 0.4 µg in weight at a velocity of 7 m/sec by application of a voltage of 100 V to a piezoelectric element for 100 μsec, whereas the nozzle orifice arrays N12 and N22, eject the ink droplets weighing 0.2 μg at a velocity of 7 m/sec by application of a voltage of 100 V to a piezoelectric element for 100 usec. Two kinds of ink droplets having different colors can be ejected, and three gradations can be expressed for each of the colors, so that a total of 16 kinds of gradations can be expressed.



### **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]:

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998,2003 Japan Patent Office

## ⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭63-295270=

(1) Int Cl. 4

識別記号.

庁内塾理番号

B 41 J 3/04

103

X-7513-2C A-8302-2C

每公開 昭和63年(1988)12月1日:

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式

3 発明の名称

カラーインクジェットヘッド

②特 願 昭62-130411

強

務

願 昭62(1987)5月27日 23出

②発・明

会社内

创出 願 セイコーエプソン株式

東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

. . . . . 会社

②代 理 人

弁理士 最上

原

外1名

!

1.発明の名称

カラマインクジェットヘッ

異なる2色以上のインク前を吐出する複数のノ ズルオリフィスと、前記ノズルオリフィスの各々 に連結しインク前吐出の為の圧力を発生させる圧。 力窓と、各インク毎に改置されたインク供給単値 室と、前記圧力蓋と前記インク供給準備量に連結 したインク供給路とを具備し、各色のインクにつ き飛行速度が同様であり、且つ異量が異なるイン ク摘を吐出する複数の前記ノズルオリフィスが段 けられたことを特徴とするカラーインクジェット。

3. 强明 0 群細な段明

(庶衆上の利用分野)。

本発明は、複数のノズルから異なる色のインク

済を吐出してカラー記録を行なうカラーインクジ ドに関するもので、特に重量の異なる を吐出し胎四表現を行なうカラーインク

第8回は4色カラーインクシェットヘッドの従 を示した斜視図であり、第1.0図は従来例の ルオリフィス配度を示した版金図である。ノ ズル列N, N, N, ハ, は4色のインクに それぞれ対応しており、インクジェットヘッドが ×方向に移動する過程でノズルオリフィスより遊 宜の匝量を持ったインク液を吐出し記録紙上にカ ラー記録する。、従来では、、階級表現を実現する為… に、印字信号の人力ペルスを変化させる方法、 及び入力パルスの振幅を変化させる方法がそれぞ れとられていた。しかし上記2方法では、インク 消飛行速度が一定のままインク検重量を変化させ る。事が困難であり、インク減刑行速度が変化し記 録紙上に付着したインク旗の位置精度が不正確で あるという大きな問題があった。

( 弱明が解決しようとする問題点)

本発明は、このような問題に置みインク演血量の大小にかかわらず、インク演用行速度が一定なっ
カラーインクショットヘッドを提供する事を目的
とする。

(周辺点を解決するための手段)

本発明のカラーインクジェットヘッドによれば インク吐出面からに縁紙までの距離、及びカラー インクジェットヘッドの移動速度の大小にかかわ

(突拖例)

前1図は、本強明の実施例であり、2色のイン ク海を吐出可能なカラーインクジェットヘッドで ある。インクタンクT、内のインク1、は、イン ク供給チュープC、インク供給単値直4、インク 供給路3、圧力宽2を経て、ノズルオリフィス列 N、、及びN、」のノズルオリフィス1よりイン ク消として吐出される。またインクタンクT。内 のインク「。もノズルオリフィス列N。、及びN 。。のノズルオリフィス1よりインク液として吐 出される。ここで、ノズルオリフィス列N。。及 び N 。, は 1 0 0 V の 電圧を 1 0 0 μ s e c 圧 tt 煮子に印加することによりインクガスピード7m ノs。インク減益益Ο、4μgのインク減を吐出 するように構成されている。一方ノズルオリフィ ス列N1. 及びN2. は100Vの電圧を100 usec圧電素子に印加することによりインク消

スピード7m/s,インク商量量0、2μ8のインク商を吐出するように構成されている。

第3回は、第1回に示す実施例に基づいて設計されたヘッドの特性を示している。ノズルオリフィス列N... にO.B.、ノズルオリフィス列N...

に②がそれぞれ対応している。 ②はドライブ回路 への入力ペルス、⑤は圧電素子の低圧、⑤はノズ ルオリフィス1より吐出されたインク量をそれぞ れ表わしている。インク流路の7 ②共に同様な気 圧、パルス幅が印加されているにもかかわらず、 吐出したインク消血量に違いが生じている。こ れは、両インク液路の形状が異なっている為であ る。一般にインク簡重量を小さくするためには、 ノズルオリフィス1の関ロ部面積を小さくする、 インク複路の幅を調整する、圧電素子の厚みを厚 くする中の手段がとられる。本苑明者は、ノズル オリフィス間口部面積を30%小さくし、また圧 世景子の厚さを50%厚くしたインクジェットへ ッドを試作し、圧電素子への印加電圧とインク液 飛行速度が同様でインク積重量が 1 / 2 になる事 おはほしている。

第4回は、大小それぞれの重量のインク商を吐出するヘッド101とヘッド102の函動回路をブロック図で扱わしたものである。第1回の実施例に当てはあれば、ヘッド101がノズルオリフ

ィス列N。。, ヘッド102がノズルオリフィス 列N、。に相当するインク流路であると考えられ る。インク旗吐出命令が、印字信号501及び船 50 低号601として制御回路401へと伝えられ る。 制御回路401は受け取った階四信号601 をもとにヘッド101と102の両ヘッドをそれ ぞれ遊択するロジックで構成されており、遊択箱 果を信号校し、、し。を介して出力する。 但しへ ッド101, 102の両方が選択される場合も有 り得る。例仰回路401から出力された信号は、 遅延回路201、202で吐出ダイミングの調整 が行なわれた後ドライブ回路301、302に至 りノズルオリフィス1よりインク技が吐出される という原理である。とこで過延回路201,20 2 を用いる理由は、ノズルオリフィス配列が印字 方向に対して垂直に数列にわたっているので、記 録紙とノズルオリフィス1の相対位置が返正な位 置となるまでインク消吐出タイミングを遅らせる **あである。** 

第5回は、第4回で示した信号線し、。しょの

状態に対するインク消血量を表わした図である。 団においてヘッド101、102両方に吐出命令 が送られ、その結果両ノズルオリフィスからの叶 出量を合計したり、8μgのインク流が得られる ことになる。 また、①においてヘッド10:10 みが区跡された時は0、4μgのインク類が得ら れ、⑤においてヘッド102のみが区動された時 は 0 . 2 μ g の インク 演 が 得 ら れ る。 よって、 異 なった重量のインク消を吐出するヘッド2種類を 直宜遊択する事により、同色について3種類の胎 **罰我類が可能である事が分かる。したがって.異な** った巨量のインク資を吐出するヘッド3種類を返 直遊択すれば、同色について7種類の階調表現が 可能である。また第1図に示した実施例では2色 のインク演を吐出可能であり、各色につき3種類 の勝調表現が可能である事から、合計18種類の 勝 間 汲 現 が 可 能 で あ る 。 こ こ で 、 シ ア ン 、 マ ゼ ン ダ、イエロー3色のインクをそれぞれ大小2日間 のインク消として吐出可能なカラーインククェッ トヘッドは、合計64種類の併図表現が可能であ

#### δ.

部 6 図 6 本 発 明 の 変 施 例 で あ り 、 第 8 図 に 基 づ く イ ン ク 2 複 類 の な さ れ で お り 、 イ ン ク 1 。 及 び 1 。 の 2 種 類 の か 性 出 可 能 な か り 、 ル カ り ー オ オ リ カ ク タ ェ ト で あ る 。 し た が っ な ご と か っ と で り で か る 。 し た が っ な ご に お い ひ ひ で れ の 及 び ② の 特 性 を 示 す 。 但 し 第 3 図 ② の ト ド イ ブ 回路 へ の 入 カ ベ ル ス は の 。 の 表 に せ ひ が に と 下 す れ で か ら ら ず し ら な に な び 要 性 は な い 。 こ の 実 施 例 も 第 1 図 に で あ る 。 額 例 と 同 様 に 1 8 種 頭 の 勝 四 表 項 か 可 能 で あ る 。 〔 如 明 の 効 要 〕

本発明によるところのカラーインククェットヘッドを用いれば、正確に階調表現された鮮明なカラー記録が得られるとともに、ノズルオリフィスのインク演吐出面から記録証までの距離を大きく設定できる為、記録紙の厚さの違いに、柔軟に対応でき、凸凹面にも記録可能なカラーインクタェット記録設置が得られる。

### 4. 図面の簡単な説明

第 1 図は、本発明実施例の斜視図。第 2 図は、実施例の特性を示す波形図。第 4 図は、 ペッドの 数 動 回路を示すブロック図。第 5 図は、 第 4 図は、 第 4 図 中の信号雑し、, し。の状態を示す 放形図。 第 6 図は、本発明実施例の斜視図。第 7 図と 第 8 図はオンデマンド型 インクシェットヘッドの構造図オンデマンド型 インクシェットヘッドの構造図 でが 1 0 図は、従来例のノズル配図の詳細を示した任金図。

以下記号の鼓明をする。

1 … ノズルオリフィス

2 … 圧力室

3 … インク供給路

4 … インク供給単价室

5 … 压气素子

8 … 佐助板

7 … 流路基板...

1:ノズルオリズス

T, ~ T. ... 121921

N. ~ N. . N. . ~ N. . ... / X / x / 7

ィス列

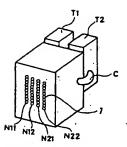
C…インク供給チューブ

P … 记母纸

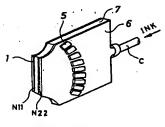
以上

出馴人 セイコーエブソン株式会社

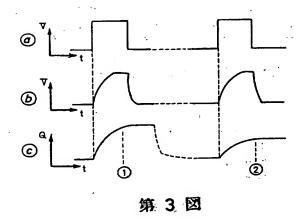
代理人 弁理士 最 上 粉 做 1名

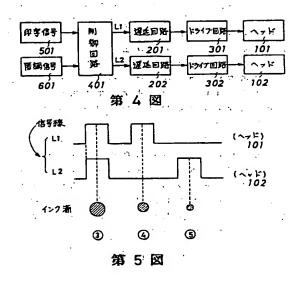


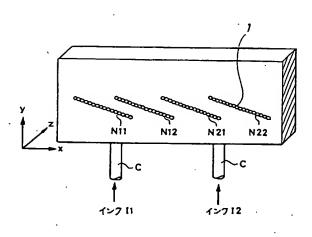
第1図



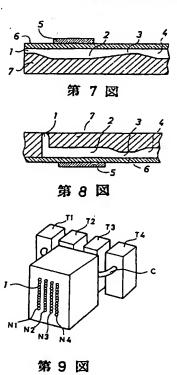
第 2 図







第 6 図



N1 N2 N3 N4

0 0 0 0
0 0 0
0 0 0 0
0 0 0 0
0 0 0 0
0 0 0 0
0 0 0 0

第10 図

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成6年(1994)12月6日

【公開番号】特開昭63-295270

【公開日】昭和63年(1988)12月1日

【年通号数】公開特許公報63-2953

【出願番号】特願昭62-130411

【国際特許分類第5版】

B41J 2/205

2/045

2/055

2/21

[FI]

B41J 3/04 103 X 9012-2C

A 9012-2C

101 A 8306-2C

### 手統補正書 (自発)

平成 8年 8月26日

特許庁長官 麻 生 波 政

1. 事件の表示

昭和62年 特 許 顧 第180411号

2. 発明の名称

インクジェット記録装置

3. 補正する者 事件との関係。 出題人

> 東京都新客区西新官2丁目4番1号 (286) セイコーエブソン株式全社 代表取締役 安川 基 昭

4.代理人

① 165 東京部新宿区西新宿2丁目4番1号 セイコーエブソン株式会社内(9888) 弁理士 野木 喜三郎

连絡先 為3148-8531 内線2410~2613



- 額正により増加する類明の数
- 6、 補正の対象

明和書(発明の名称、特許請求の範囲、発明の詳細な説明)

7. 補正の内容

別にある。



### 李 続 緒 正 有

- 1. 発明の名称を「インクジェット記録袋屋」と補正する。
- 2. 特許請求の範囲を別紙の如く補正する。
- 3。明和音樂1頁最終行乃至第2頁4行目

「本免明・・・ヘッドに買する。」とあるを、

「本免呀はインクジェット記録装置に関し、より辞稿には異なるインク重量のインク損免のインク損を吐出するインクジェット記録装置に関する。」と補正する。

4. 明細名第3頁2行目乃塑問5行目

「本発明・・・目的とする。」とあるを、

「本発明は上紀問題を解決するものであり、インク袖重量の大小に関係なくイン ク演系行通度が向一のインクジェット記録被置を提供することにある。」と補正 する。.

5、明報告第3度7元日乃至同16行日

「本免明・・・神承とする。」とあるを、

「本免明のインクジェット記録接世は、異なるインク重要のインク湾を吐出するための複数の異なる関ロ関核をもつノズルオリフィスと、はノズルオリフィスと、建選する圧力底と、数圧力気を加圧する圧電素子とを有し、複数のノズルオリフィスに対応する数圧電素子を駆動する駆動被形が同一の条件において、前配具なる関ロ配環を有するノズルオリフィスから吐出されるインク簿の飛行速度を同等にすべく前記圧電景子の序みが設定されていることを特徴とする。」と補正する。

6. 明和審第3頁下から4行目乃至第4頁3行目

「[作用]・・・符られる。」とあるを削除する。

7. 明朝春第8頁1.4行目乃至阿20行自。

「本免明に・・・得られる。」とあるを、

「本発明のインクジェット記録袋屋によれば、130なるインク語を同一の飛行速度 で記録紙上に記録することができるため、記録紙上に付着したインク液の位置線 反が正確になり、所属の記録画像を得ることができる。」と補正する。

特許請求の範囲

1、 異なるインク角員のインク油を吐出するための複数の異なる閉口順保をもつ ノズルオリフィスと、終ノズルオリフィスと遊過する圧力変と、禁圧力高を加圧 する圧電景子とを打し。

3

複数のノズルオリフィスに対応する前部圧電蔑子を駆動する駆動強形が同一の 条件において、前記員なる間口間線を有するノズルオリフィスから吐出されるインク流の飛行液度を同等にすべく前配圧電素子の厚みが設定されていることを特 数とするインクジェット配種装置。

2. 前記ノズルオリフィスの関ロ関係が低より小さく設定されている圧力室の圧 食様子の厚みは、他の圧量素子より厚く設定されていることを特徴とする特許療 水の質細第1項記載のインクジェット記録鏡置。